

科目名：	人的資本経営		科目コード	EB95		
科目主査：	内藤 英俊	担当講師：	内藤 英俊	単位	4	
授業の目的と概要			グループワーク：	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク：	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
企業経営における“人材”の重要性がますます高まっている。かつて、“人材”は「ヒト、モノ、カネ」と言われるように経営の資源（リソース）と考えられていたが、今日そのような考え方は成り立たない。“人材”こそが企業の競争力を高め、業績を向上させる元手（資本）である。本科目では、「人的資本経営」とは何か、また何をすれば企業の目的に沿った「人的資本経営」が実現できるのか、を理解することを目指す。同時に「人的資本の開示」についても、具体的な指標を挙げて確認する。						
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：				
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングし質問ができるように準備しておいてください。					
テキスト	『図解 人的資本経営 50の問いに答えるだけで「理想の組織」が実現できる』岡田 幸士, ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2024年					
この科目の到達目標	①人的資本経営とは何か、なぜ人的資本経営が重要視されるのか、を理解することができる。 ②企業の目的実現へ最大限貢献してもらうために、人と組織の姿がどうあるべきか、を理解することができる。					
成績評価の方法	1日目終了後の課題及び最終試験の得点に、講義中の取り組み姿勢（チャットの発言や質問の積極性）を加味して評価します。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（未入力提出不可）をもって、採点対象とします。					
事後学習	授業で取り上げた50の問いを大切にしてください。50の問いを自組織に投げかけ、人的資本向上のための課題を自ら発見してください。そして、スクーリングで得た「知識・気づき」をもとに、課題解決に向けた具体的な行動に移してください。たとえそれが小さくとも、行動することが学びを深めます。					
事後学習の参考文献	『人的資本の論理』小野 浩, 日本経済新聞出版, 2024年 『人的資本経営大全』田中 弦, 東洋経済新報社, 2025年 『最強の戦略人事』リード・デシュラー クレイグ・スミス 他, 東洋経済新報社, 2020年					
スクーリング受講時に用意するもの <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ・マイクは必須となります。						